



# 「2015年NPTへ 被爆国日本の役割」

日時： **4月7日(月) 18時～20時30分**

場所： **平和と労働センター・2階ホール**

【最寄り駅】 東京メトロ丸ノ内線かJRの「御茶ノ水」駅下車、徒歩 7～8 分

広島、長崎への原爆投下から 69 年を迎えます。来年は被爆 70 年です。「生きているうちに核兵器の廃絶を」との被爆者の強い願いにもかかわらず、今も世界には 1 万 7000 発もの核兵器が配備・貯蔵され、人類の生存を脅かしています。

2010 年に開かれた核不拡散条約 (NPT) 再検討会議は、アメリカなど核兵器国を含めて 189 か国が一致して「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことに合意しました。それから 4 年が経とうとしているにもかかわらず、合意の実行は遅々としています。

4月28日からニューヨークで 2015 年 NPT 再検討会議に向けた第 3 回準備委員会が開かれます。シンポジウムでは、国会議員、被爆者、専門家をまじえて被爆国日本はどう行動すべきか、日本の役割について深めます。多くの方の参加をよびかけます。

## <パネリスト>

**笠井 亮** (日本共産党衆議院議員)

**田中熙巳** (被爆者、日本被団協事務局長)

**川崎 哲** (ピースボート共同代表)

**土田弥生** (日本原水協事務局次長)

## <コーディネーター>

**高草木 博** (日本原水協代表理事)



問合せ先＝原水爆禁止日本協議会 電話 03-5842-6031  
お願い：シンポジウムの資料代として 500 円のご負担をお願いいたします。